

1 第36回卒業証書授与式

○ 3月1日(月)、第36回卒業証書授与式が挙行されました。

コロナウィルス感染症対策のため、卒業生105名と送辞の2年生、保護者、教職員で挙行しました。校長式辞では「自分で自分の能力を高め、道を切り開いてほしい」と激励しました。卒業生答辞では「行事の縮小や制約があり悔しい思いをした1年だった。それでも、みんなの思いが一つになったとき、感動と喜びで涙があふれてきた」と振り返るとともに、在校生に対しては、「みなさんなら最後の1年をよりよいものにできると信じています」とエールを送りました。卒業式後、保護者は、体育館のスクリーンに映された各HRの様子を感慨深く見つめていました。



2 浅江中・光警察署連携企画

○ 3月16日(火)、浅江中生徒会、光警察署と連携して啓発行事を行いました。



浅江中1、2年生を対象に、「光丘・光高校生」「浅江中学生」「光警察署職員」が一つのチームとなり、SNSの正しい使い方やウソ電話詐欺被害防止の対処法を教える講座を行いました。中学校生徒会作成の脚本を高校生のアドバイスを元に、演劇化したり、警察監修のストーリーを高校生が演じたり

りするなど、三者それぞれの力を生かしながら地域課題の解決をめざしました。

3 一人一台タブレットの貸出について

Society5.0の到来を見据え、これからの時代を切り拓く子どもたちに求められる「情報活用能力」等を育成するため、「GIGAスクール構想」の実現に向け、生徒一人一台学習者用端末(タブレット)を貸し出すことになりました。今後は、学校の授業や家庭学習で活用します。なお、他の高校で、貸し出したタブレットの破損等が多く報告されています。タブレットの扱いには注意してください。